

みずほCustomer Desk Report 2023/10/27号 (As of 2023/10/26)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	150.25
TKY 9:00AM	150.11	1.0566	158.58	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	150.78	1.0569	158.90	1.2102	0.6294
SYD-NY Low	149.87	1.0521	158.00	1.2140	0.6330
NY 5:00 PM	150.42	1.0560	158.85	1.2070	0.6271
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,784.30	▲ 251.63	日本2年債	0.0900%	0.0200%
NASDAQ	12,595.61	▲ 225.62	日本10年債	0.8800%	0.0300%
S&P	4,137.23	▲ 49.54	米国2年債	5.0447%	▲0.0781%
日経平均	30,601.78	▲ 668.14	米国5年債	4.7986%	▲0.1243%
TOPIX	2,224.25	▲ 30.15	米国10年債	4.8477%	▲0.1126%
ソコ日経先物	30,600.00	▲ 405.00	独10年債	2.8495%	▲0.0390%
ロンドンFT	7,354.57	▲ 59.77	英10年債	4.5965%	▲0.0085%
DAX	14,731.05	▲ 161.13	豪10年債	4.8560%	0.1200%
ハンセン指数	17,044.61	▲ 40.72	USDJPY 1M Vol	8.32%	0.17%
上海総合	2,988.30	14.19	USDJPY 3M Vol	9.18%	0.23%
NY金	1,997.40	2.50	USDJPY 6M Vol	9.38%	0.13%
WTI	83.21	▲ 2.18	USDJPY 1M 25RR	▲0.98%	Yen Call Over
CRB指数	281.52	▲ 1.59	EURJPY 3M Vol	9.40%	▲0.02%
ドルインデックス	106.60	0.07	EURJPY 6M Vol	9.66%	0.00%

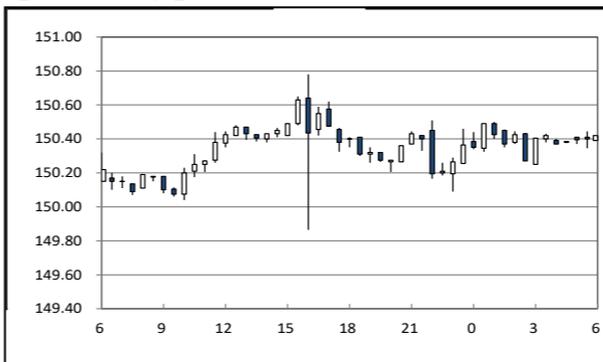
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月26日	21:15	欧 ECB主要政策金利/預金ファシリティレート	26-Oct 4.5%/4.0%	4.5%/4.0%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	9月 0.0%	0.1%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	3Q A 4.9%	4.5%
	21:30	米 個人消費	3Q A 4.0%	4.0%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	9月 4.7%	1.9%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	9月 0.5%	0.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	21-Oct 210k	207k
	21:45	欧 ラガルドECB総裁 会見	「年内は経済が引き続き低迷する公算が大きい」	
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	9月 1.1%	-2.0%

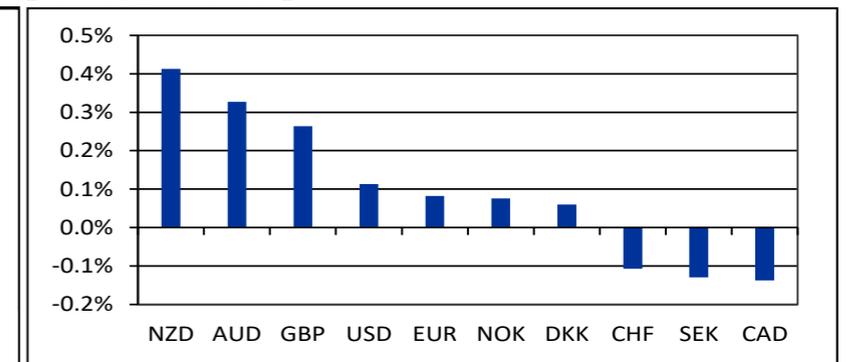
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月27日	08:30	日 東京/東京コア/東京コアコアCPI	10月 2.8%/2.5%/3.7%	2.8%/2.5%/3.9%
	21:30	米 PCEデフレ率(前月比/前年比)	9月 0.3%/3.4%	0.4%/3.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	10月 63.0	63.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.80-150.90	1.0500-1.0640	157.90-159.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は年初来高値を更新した。欧州時間に米金利の上昇とともに、ドル円は150.78まで上伸し、年初来高値を更新。その後はごく短期的に下落調整を挟む場面もあったが、結局150円台前半を維持しクローズとなった。本日のドル円は上値の重い展開を予想。米長期金利が高値圏で推移しておりドル買い支援材料となるものの、年初来高値を更新したことから介入警戒感が強まっている。本邦当局からの円安けん制発言に対するマーケットの感応度は従前よりも高まっている可能性があり、注意したい。

東京	東京時間のドル円は150.11レベルでオープン。日中を通してドル買いが優勢の展開となる中、鈴木財務相による口先介入も相場への影響は限定的となり、ドル円は150円台前半で底堅く推移した。東京時間クローズ前には欧州勢によるドル買いも後押しとなり、150.65をつけ、結局150.62レベルでロンドンに渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.62レベルでオープン。アジア時間の流れを引きつぎ150.78まで上昇した直後に149.87まで売られた。特段のヘッドラインがなかったこともあり程なく値を戻したものの介入警戒感の強さがうかがわれた。結局150.42レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円前半でスタート。米金利の上昇基調が強まる中、ドル円も底堅く推移し、年初来高値の150.78まで上昇。その後、149.87まで急落する場面もあったが、直ぐに巻き戻し150.50まで戻し、その後150.42レベルでNYオープン。朝方に発表された米第3四半期GDPが予想を上回り、構成項目の個人消費も予想以上の伸びを見せた結果を受け、発表直後は150.51まで上昇。しかし、同時に発表された米新規失業保険申請件数と米失業保険継続受給者数が共に予想より悪化した内容を受け、買いは長く続かず、150.09まで反落。その後米9月中古住宅販売仮契約が予想より良好な内容や、ショートカバーが入った事を受け、150.50付近まで戻す。午後は米7年債の好調な入札結果が上値を抑え、小幅反落し、150.40付近を中心とした推移後、150.42レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台後半でスタート。注目のECB10月会合結果発表を控えている事や、米金利の高止まりを受け、ユーロドルは軟調な展開となり、じり安での推移が続き、1.0537レベルでNYオープン。朝方にはECBが予想通り現行の政策金利の据え置きとなり、発表直後は売りで反応し1.0521まで下落。一旦押し目買いで1.0565まで反発するも、その後行われたラガルド総裁の記者会見で、「年内は経済が引き続き低迷する公算が大きい」との認識を示し、ユーロ圏経済の一段減速が懸念され、再び売りが優勢となり、1.0526まで値を下げる。午後は米金利が一段低下する展開が支援材料となり、1.0550付近まで戻し、結局、1.0560レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田川・松木